

# ～TANKYU～

谷地南部小学校

校内研究だより

2023. 5. 23

No.13 文責 荒木秀

## 失敗から学ぶ

毎日の運動会の準備活動、お疲れ様です。教室での高学年の様子を見ていると、活動に関わっている子どもたちは、みんないい顔をしています。きっと、先生方がうまく子どもたちに活躍の場を与えてくださっているからではないかと推測しているところです。本当にありがとうございます。

いよいよ明日からは全校応援の練習も始まります。そこで、先生方をお願いします。ぜひ、応援団幹部に失敗をさせてください。「失敗をさせろだなんて…何て薄情な担任だ。」と思われてしまうかもしれませんが、私は失敗からこそ多くのことを学ぶことができと思っています。人類の進化だって、失敗の連続でここまで発展してきたわけですよ。成功ばかりの人生なんてありえません。

「いつまでもうるさくて、他の学年に迷惑をかける。」ついつい親心が発動して、幹部が動く前に先生方が動きたくなくなってしまうことがあります。そこをぐっと我慢してほしいのです。どうか高学年を育ててください。育ててもらった恩は必ず、下学年に還元していきますので。我慢できない方はどうぞ、職員室で休憩しててください。菅野先生と私が責任を持って見守ります。

「そんなことを言っても、それでは無駄な時間ばかりが増えてしまう。」反論されそうです。その通りだと思います。時間はかかります。でも、その無駄な時間は、子ども達にとって本当に無駄なのでしょうか？もしかしたら、私たち大人の勝手な都合による無駄になっていないでしょうか？

私たち大人の都合にはめないためにも、ゆとりをもって計画を立てていく必要があるように思います。だから、今年度は一週間早く活動をスタートしていただきました。その結果、前文でも書かせていただいたように、子ども達、穏やかに、そして、楽しく活動できているのだと思います。

今をうまくやりこなすことよりも、時間はかかっても、大人になって乗り越えられる力を子どもたちにつけさせましょう。学校教育目標は「未来をひらき、しなやかに生きる力を育む教育」ですよ。ゴールは今ではありません。社会人になったときです。この間、伊藤先生がかっこいい台詞を呟いていました。「成功するまでやったら、その過程は失敗ではない。」